

皆さんと力を合わせて実現できました

1 子どもの貧困は見過ごせない

- 高校生以下の子どもからの国民健康保険証のとりあげをやめさせました
- 年収500万円程度未満の世帯の私立高校授業料の補助制度(最高65万円)を創設させました
- 高校通学費補助制度を改善させました
- 昨年12月の検討会で子どもの医療費助成制度の拡充の方向性が示されました

2 雇用と若者を守れ

- 京都府の雇用のための補助金の見直しを求め、正規雇用が位置づけられました

3 いのちを脅かす府政を許さない

- 命も奪うような生活保護の申請権侵害問題について、府の指導が間違っていたことを認めさせ、議会で謝罪させました
- 医療や介護の負担軽減について、議会で取り上げてきました



4 農業を守り環境破壊ストップ

- 危険な硫酸ピッチの不法投棄を告発し、初めての府の代執行を行わせました
- 都市近郊農家が果たしている、環境や防災の役割について認めさせ、災害からの安全な京都づくり条例のなかに、農業への支援策を盛りこませることができました

願い
実現へ

全力で取り組みます

- 1 医療と介護の負担を軽減します
- 2 すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめます
- 3 あたたかい、小学校のような中学校給食を実現します
- 4 住宅リフォーム助成制度を創設し、地元の仕事を増やします
- 5 京都府の仕事は府内の業者に適正な価格で発注するよう求めていきます
- 6 中小企業や地域の小売店の振興を図ります
- 7 JR 西大路駅の南改札口のバリアフリーを早期に実現するよう、力を合わせます
- 8 国民健康保険料を引き下げます。保険料の無慈悲な取立てをやめさせます
- 9 生活保護基準の引き下げに反対し、人間らしい生活が送れるようにします
- 10 都市近郊農業の発展に力を尽くします



命と暮らしを守るために
全力でがんばります。

利用料が払えないために
介護が受けられない
医療費が払えないために
医者に行けない
この日本でこんなことが起きているのは
見過ごせません



日本共産党

京都府議員 4期

山内よし子

府会

やまうち 佳子

山内よし子

1954年7月生まれ ● 64歳 ● 現在府議員4期目 ● 警察常任委員、府民生活厚生常任委員、文化教育常任委員など歴任 ● 2003年初当選するまで南区生活と健康を守る会の事務局長、南区社会保障推進協議会の事務局長として、貧困問題に取り組む ● 同居家族は雄猫のジョバンこと息子 ● 趣味は音楽を聴くこと、歌をうたうこと。読書。女声合唱団アンダンテ団員(現在休団中) ● 資格: 保育士・剣道二段・普通自動車免許 ● 好きな作家: 帯木 蓮生(ははきぎ ほうせい)、松本清張

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働 NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決

子どもに笑顔 若者に仕事 老後に安心を

市会へと押し上げていただき、早いものでまもなく4年になります。みなさんのご協力もあり、おかげさまで4年の間多くのことができました。共産党市会議員団を代表して本会議で2回質問し、みなさんの切実な声を届けました。市民の生活を守り、快適な暮らしを願ってこれからも力いっぱいがんばります。



日本共産党

京都市議員 1期

森田ゆみ子

市会



もりた由美子

1968年5月28日、大阪市此花区生まれ ▶ 高校卒業後演劇研究所で学び、劇団京芸で女優を務める ▶ 子育てと家事のかたわら、洛南中学校PTA役員など、地域の願い実現の活動 ▶ 市議1期: 文化環境委員歴任、元新日本婦人の会南支部常任委員 ▶ 家族は夫と中3・高1の息子、そして黒ネコじゅうべえ ▶ 趣味は山菜採り、編み物、少林寺拳法、手作り人形劇、おもちゃ作り、クロスワードパズル。

森田ゆみ子

願いとどく南区へ

1 バス待ち環境の改善

▶ 南区では市バスの本数が少なく、なかなか来ないバスを待つのも大変です。循環バスや、バス待ち環境の改善を要望し、久世の東土川バス停は企業の敷地内にできたのをはじめ、十条通りの多くのバス停に屋根つきのベンチが実現しました。



2 安全で安心して暮らせるまちづくり

▶ 市議員になってすぐに、南区の西高瀬川沿いの上鳥羽橋南側で高齢の男性が堤防から足を踏み外して5m下に転落し大怪我をしました。以前から転落事故が何回もある現場に柵などは無く、今まで何度要望しても予算がつかせませんでした。しかし、このたびの事故を教訓に粘り強く要望し、転落防止柵を付けることができました。▶ 「吉祥院商店街に車が入らないようにしてほしい」その声を受けて南警察と南部土木の連携で電柱に看板を付けてもらうことができました。



3 文化・スポーツ施設は市民の声で!!

▶ 文化庁が京都に来ることが決まりましたが、京都市の美術館耐震改修や文化政策は専門家が首をかしげることばかりです。文化人、芸術家と連携し、市政に反映できるよう頑張っています。▶ 少年サッカーのコーチや保護者からの「吉祥院グラウンドを芝生にしてほしい」との要望をうけ、委員会で何度も取り上げ人工芝化が実現しました。昼間はグラウンドゴルフ場として使用でき、地域の方に喜ばれています。



4 子どもを育てる母として

▶ 中学校給食は多くの保護者から切実な声が寄せられました。「多忙でお弁当を作る時間がない」「家が遠い子どもにとっては弁当が重くて負担」などです。京都市は愛情弁当論を掲げて選択の自由とありますが、温かくておいしい給食をみんなで食べるのが食育にとっても重要だと思います。他都市では全員制の給食が当たり前になっており本会議で質問しました。▶ 子沢山の家庭では、誰かが風邪を引けばすぐにみんなに感染してしまいます。安心して子どもを生き育てるためには、せめて子どもの医療費の心配は不要となるよう求めています。



託したい願い



いまい小児科クリニック 所長
今井博之さん

日本の貧困率は先進国中ワースト2位、母子家庭などのひとり親世帯では、半数以上が貧困下に生活しているといえます。せめて、中学卒業までの医療費やインフルエンザワクチンなどを無料にしてほしい。



劇団京芸 俳優
竹橋 団さん

最近、小・中学校での演劇鑑賞会が少なくなったのは問題だと感じています。劇団も困っていますが、何より子どもたちの豊かな発達のために、文化に直接触れることができる機会を増やしてほしい。